

(別紙)

まち・ひと・しごとを創生する施策の方向性と施策の例

- 『一都二県＋千葉』の中で千葉市が果たすべき役割の追及
 - 「競争」から「共創」の地域連携への転換
 - 周辺都市をけん引する、自立した都市
 - 圏域全体を見据えた、生活機能の向上
- 都市の活力を支える産業の振興とこれを支える人材の育成、しくみの整備
 - 企業立地の一層の促進と「産業集積」の取組
 - 「技術」と「産業」と「資金」をつなぐしくみ
 - 地域経済を支える人材の育成
- 出産・子育ての希望をかなえ、若い魅力で活気あふれるまちづくり
 - ダイバーシティ社会の確立（女性の活躍推進）
 - 若さにあふれた活気あるまち
 - 「待機児童ゼロ」の継続 子育て施策の充実
- 都市資源の最適活用により、ひととひとがつながるコンパクトなまちづくり
 - 都市マスタープランの実現
 - 「職住近接」のための産業界との連携
 - ネットワーク化の促進による、地域の拠点づくり
- 超高齢化を迎える地域社会を支えるしくみづくり
 - 地域包括ケアシステムの確立
 - 健康寿命の延伸（市民の健康づくりの充実）
 - アクティブシニアの参画推進
- 千葉市を「知っている」から「大好き」になる好循環の確立
 - 都市アイデンティティの確立（「加曽利貝塚」「千葉氏」「海辺」「谷津田・里山」を活かして）
 - 一人ひとりがまちづくりのプレイヤー（96万市民全員参加のまちづくり）
 - 「時間を返す」最高の市民サービス
- オリンピック・パラリンピックを契機とした地域の活性化
 - アスリート、観客にとって最高の環境を整える「おもてなし」の開催準備
 - 将来にわたり賑わいを産む「レガシー」の実現
 - MICEの誘致、国際交流の促進による新しい価値の創出